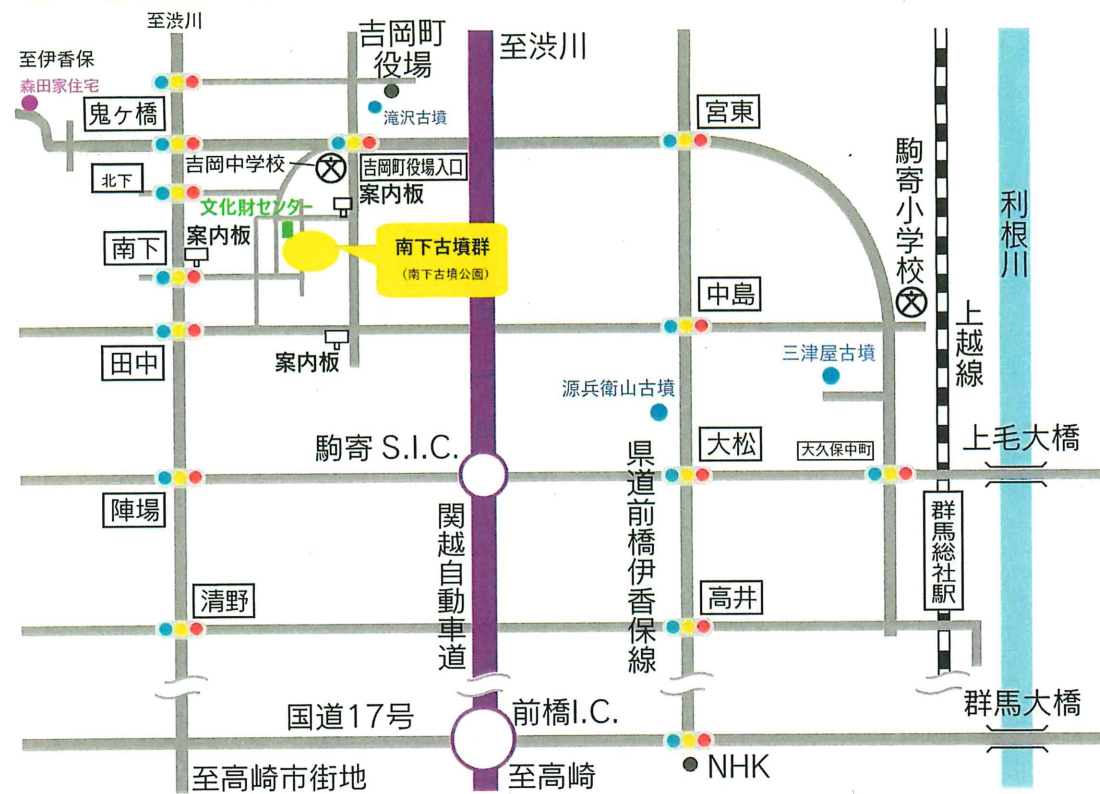


南下古墳群（古墳公園）・文化財センター（吉岡町南下 1322-12 電話 0279-54-9443）

へのアクセスマップ



南下古墳群位置図

北群馬郡吉岡町大字南下字大林

南下古墳群（上空から）



（お問い合わせ先）

吉岡町文化財センター（文化財事務所）

〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町南下1322-12

電話 0279-54-9443

（月曜日休館・月曜日が祝日の場合は翌日が振替休館）

（展示室の見学は午前9時から午後4時まで）

※ お願い

現在、古墳の石室は安全管理のため、立入りを制限しています。

群馬県指定史跡（指定予定）

（群馬県文化財保護審議会が令和5年8月1日に県知事あて答申しました）

南下古墳群

南下古墳群は南下古墳公園内にある6世紀後半から7世紀末までに築かれたAからF号墳までの6基の古墳の総称です。6基の内AからE号墳までの5基の古墳は現在でも石室が残っており、中でもA号墳とE号墳の石室内には石材加工の際に引かれた赤色作業線（朱線）や、石室内に塗られた漆喰の跡が残っています。朱線や漆喰の存在は、前橋市総社町の宝塔山古墳にも見られますが、その他には全国的に見ても奈良県明日香村の高松塚古墳など数基しかありません。宝塔山古墳とA号墳・E号墳の築造には同一技術集団が関わった可能性があります。

南下古墳群には古墳の築造研究に関する貴重な情報が数多く残されており、学術的に高い価値があると位置付けられています。

南下古墳群を構成する古墳の中で最も大きい円墳 A号墳

